

# 自然災害に弱い地域避ける

## 「いい地盤の日」で調査実施

不動産関連の比較査定サイト「リビンマッチ（旧スマイスター）」を運営するリビン・テクノロジーズ（東京都中央区、川合大無社長）は11月28日の「いい地盤の日」（地盤ネット総合研究制定）に合わせて居住地域の自然災害への強弱」をまとめた。

### リビン・テクノロジーズ

上の男女480人を対象に「居住地域の自然災害への強弱」を調べたところ、気に入った場所であっても自然災害に弱いエリアならば（東京都中央区、川合大無社長）は11月28日の「いい地盤の日」（地盤ネット総合研究制定）に合わせて居住地域の自然災害への強弱」をまとめた。

■□■ 同サイト利用者の20歳以

検索するとした。

気にする人は、「ハザードマップで調べる」（31・7%）、「不動産会社に聞く」（25・2%）、「近所さんに聞く」（24・5%）、「業者に頼む」（21・5%）、「専門サイトで調べる」（17・8%）などだった。

なかには「古地図で調べる」（13・6%）や「役所で調べる」（11・1%）、「図書館や資料館で旧地名の由来を調べる」（9・7%）、「法務局で調べる」（5・0%）などのほか、リスクをハザードマップで講演会等で勉強し確認し

た」といった個人で本格的に調べる人もいた。

一方で気にしてない人の理由は、「気にして仕方ない」（35・3%）と「今のところ大丈夫だから」（31・4%）と楽観的な回答が多く、続いて「自分の住みたいところに住みたいから」（17・6%）、「先祖代々の土地だから」（7・8%）、「改良工事や基礎工事をしつかりするから」（3・9%）などとなつた。